

さいたま教区大会

日立に集う



第十一回さいたま教区大会

茨城県使徒協議会
会長 塚田誠實

第十一回さいたま教区大会が平成二十三年十一月二十三日茨城キリスト教学園（日立市）の講堂に六五〇余名の方々が参加して、盛大に行われました。

第一部は『東日本大震災を被災した私たちと教会』をテーマに、いわき市、石巻市、水戸市、日立市の方々から震災報告が行われ、さいたま教区サポートセンターより、これまでの支援活動と今後の計画が報告されました。報告を聞き改めて震災の悲しさ・被災者支援の大切さを実感いたしました。

陽光の下、広々としたキャンパスで昼食をいただきながら、友人たちと二年ぶりの再会を喜びあいました。

第二部のアトラクションではフラダンスで祈り、そして「We are the World」を多国籍の方々と共に大きな声で歌いました。

第三部は谷司教様司式によるミサで、被災者への祈りと復興支援への決意を致しました。ミサ献金（五十一万三千四百〇六円）は、カリタスさいたまを通じて、いわき市に設置されたサ

ポートステーション『樅の木』のために贈りました。
今大会は次の点で従来にない大会となりました。

*東日本大震災の直後に大会のテーマを『震災』に切り替えました。余震の頻発する時期でしたがテーマに対する信徒の関心が高く、大会には予想を超える大勢の方々が参加されました。

*プロテスタント教会に招待状を出したところ、日立市、水戸市及び竜ヶ崎市から牧師様、兄弟・姉妹の方々が参加してくださり大変うれしく思いました。皆様と共に震災について分かち合い、お祈りを共にすることができ、神様に感謝でいっぱいです。

教区大会は皆様のご協力が無事終えることが出来ました。が、被災地の復興や被災者への支援はこれからの長い道のりです。大会後のアンケートで、『ありがとうございます。発表は感動の連続でした。教会に戻って支援の輪を立ち上げたいと思います』と応えて下さった方の様に、各教会に一つ一つの支援の『輪』が出来ることを願っています。